

大統領選挙について

[VOL.33](#)のレポートでもお伝えしましたが、4月9日のインドネシア総選挙の結果を受けて7月9日に大統領選挙が行われました。インドネシアでは17歳以上、もしくは既婚者が有権者と定められていますので、約1億9,000万人が直接投票で大統領を選ぶという、世界的にみても大規模な選挙となりました。

選挙当日は祝日となり、午前7時から午後1時までの投票時間が終わると、即開票作業に入ります。大統領選挙は大統領候補と副大統領候補がペアで出馬をする必要があり、グリンドラ党のプラボウォ・スビアント氏と副大統領候補のハッタ・ラジャサ氏、現ジャカルタ市長で闘争民主党が擁立したジョコ・ウィドド氏と副大統領候補のユスフ・カラ氏の2組が立候補しました。

当初はジョコ・ウィドド氏が優勢と伝えられていましたが、選挙活動半ばにプラボウォ・スビアント氏が猛追し、一部の報道では支持率が逆転したと伝えられ、最後までどちらが当選するかがわからない状況でした。開票速報でも、民間調査会社8社がジョコ・ウィドド氏、4社がプラボウォ・スビアント氏の勝利と伝え、両名ともに勝利宣言を行うこととなり、現ユドヨノ大統領から勝利宣言の自粛をするよう指示があったとも報じられています。



2組の候補者



投票所の様子

投票済みの証し
(2重投票防止のため、指に着色)

当初の予定通り22日夜に選挙管理委員会（KPU）から結果発表が行われ、闘争民主党の候補者ジョコ・ウィドド氏が当選し7代目大統領になると発表されました。しかしながら対立候補であるプラボウォ・スビアント氏が憲法裁判所へ異議申立を行ったとの報道もあるため、正式な選挙結果は8月下旬まで引き延ばされることになりました。今回の投票率については前回とほぼ同じ70%強と報じられています。任期は5年、公約に掲げている経済成長と社会保障の充実、貧困対策、汚職撲滅、インフラ開発など新大統領に期待されていることは沢山あり、それらを実行するための政策に今後も注目していく必要があります。

(大統領選挙結果)

候補者名	(正) ジョコ氏・(副) カラ氏	(正) プラボウォ氏・(副) ハッタ氏
得票数	70,997,833 票	62,576,444 票
得票率	53.15%	46.85%

※22 日午後 10 時 選挙管理委員会 (KPU) 発表

(大統領就任までのスケジュール)

- 7 月 22 日 選挙管理委員会 (KPU) より公式開票結果発表
- 7 月 23 日～25 日 憲法裁判所への異議申立期間
- 8 月 22 日～24 日 憲法裁判所判決を踏まえた大統領選挙結果確定
- 10 月 1 日 国会議員就任
- 10 月 20 日 正副大統領就任式

(ジョコ・ウィドド氏経歴)

1961 年生まれの 53 歳。通称ジョコウィ。中ジャワのソロで家具職人であった父と主婦である母のもとに生まれた。ガジャマダ大学を卒業後、自身も家具輸出の仕事を行い 2005 年にソロ市長に立候補し当選。2012 年からジャカルタ特別州知事に就任し、2014 年の大統領選挙に出馬、当選する。歴代インドネシア大統領を軍幹部や政治家一族が務めてきた中、全く別のキャリアを歩んでいるジョコ氏は庶民派と言われ、汚職の影がないことや貧困問題・医療問題などを解決に導いた実績が評価されている。

以上

<これまでの岡山県インドネシアビジネスサポートデスクレポートは[こちら](#)から>

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (PT. JC内) 概要★

所在地: WISMA NUSANTARA BUILDING 24th Floor

Jl. M. H Thamrin Kav 59 Jakarta Pusat Indonesia 10350

デスク担当者: PT.JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア: インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています(岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。 [岡山県産業企画課マーケティング推進室](#) (電話 086-226-7365) までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応していません。